

長時間労働の削減に向けて積極的に取り組む企業を訪問

～山口労働局長が洋林建設株式会社を訪問しました～

厚生労働省が毎年 11 月に実施している「過重労働解消キャンペーン」の一環として、11 月 21 日に山口労働局長が働き方改革に向けて積極的な取組を行っている企業（ベストプラクティス企業）への職場訪問を実施しました。

周南市の洋林建設株式会社 代表取締役社長 松江卓郎氏との対談では、長時間労働削減に向けた取組などをお聞きしましたので、県民の皆様幅広くご紹介します。

洋林建設株式会社

所在地 山口県周南市平和通一丁目 26 番地

設立 1951 年 7 月 28 日

従業員 127 名

常に明るく楽しく、そして洋林建設の社員としてプライドを持って失敗を恐れず何事にも積極的にチャレンジする、がモットーです。



松江卓郎 社長

洋林建設株式会社における「働き方改革」の取組

1 平成 30 年度に完全週休 2 日制を導入

年間休日は 105 日（1 年間変形労働時間制）から 129 日（令和元年度）に大幅増

○意識改革

意識を変えることを第一に取り組み、社員研修、協力会社への研修も数多く実施しました。工期全体・月間・週間と工程を作成する中で、土・日の休日をどのように反映させるか、作業効率をよくするためにはどうすればいいのか、みんなが考えて作業をするよう繰り返し教育し、社員の意識に変化が見られました。

「生産性をあげて時短をする。効率よく仕事をすれば必然的に利益は上がる。」と以前から言ってきましたが、改めてそれをみんなで考えて取り組みました。

○総労働時間が減少

休日が増えましたが、残業時間に大幅な増加はなく、総労働時間としては減少しました。

【時間外労働実績：全社の月平均の時間数】

平成 29 年度	34.4 時間
平成 30 年度	31.1 時間
令和元年上期	32.5 時間

○新入社員の採用にも好影響

新入社員を対象にした調査結果では、会社選びの条件に年間休日を重視する傾向が見られます。求人募集の際にも、完全週休 2 日をアピールしています。



対談をする松江社長（右）と村井局長（左）

2 年次有給休暇取得促進の取組

○「年休奨励日」

飛び石連休等、休日と休日の間に「年休奨励日」を設定しています。
全社的に休暇を取得するように呼びかけて、休暇を取得しやすい環境にしています。

○入社と同時に休暇付与

新入社員もGW、お盆に休めるように入社時に6日の休暇を付与するようにしました。

○リフレッシュ休暇

工事の終期にはどうしても残業が増え、職員の負担が増えることとなります。
現場職員限定ですが、工事の終了後に年間2回、連続5日間の特別休暇を年次有給休暇とは別に付与しています。この休暇と土日を組み合わせれば9連休にすることもできます。

【有給休暇取得率】

2017.10.1～2018.9.30 67%

3 ICT（情報通信技術）の導入

○ドローン測量

ドローンで上空から写真を撮影して、そのデータを基に3次元設計データを作成します。

複数で行っていった測量は1人で行える等、業務量は1/10に減少しました。

○ICT 建設機械による現場施工

建設機械に3次元設計データがインストールされているため、基本的に丁張りの設置、手元作業員の配置が不要になる等、効率的な施工が可能となりました。

ICT 建設機械による施工

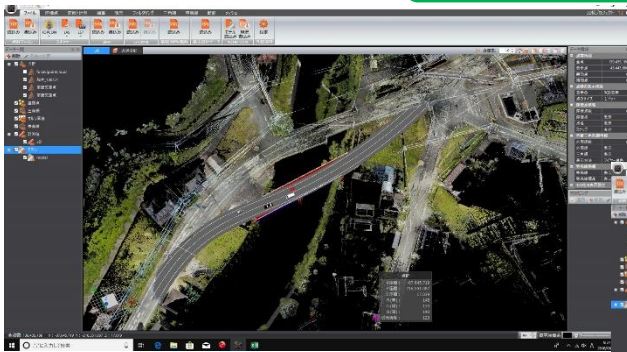


ドローンによる効率的な測量

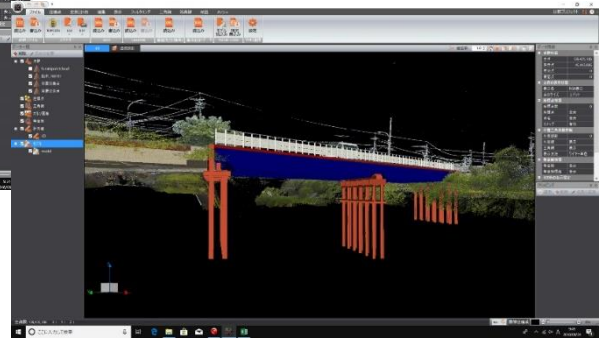


丁張りを設けることなく、日々の掘削を実現

3Dモデルの活用



3Dに対応したCADを使用して仮橋の完成イメージ図を作成し、施工方法の協議や工事説明に活用



4 今後の取組

土木現場では、ICT技術による施工を拡大し、建築現場では、「配筋検査ソフト」等の各種ソフトを導入して、タブレットを持って現場管理を行えるような能率の上がる施工を行っていきます。また、設計から図面を3次元化して、顧客へのプレゼン、設計、施工を一連のものとする等、省力化を図るとともに、社員、協力会社も含め、さらなる意識改革を推し進めます。

編集後記

今回は、県内の建設事業の企業に先駆けて、完全週休2日制に移行された洋林建設株式会社の取組をご紹介させていただきました。

県内のリーディングカンパニーとして、県内企業の模範となり、また、よい刺激を与えていただき、働き方改革が進むよう期待しております。

今後ともよろしくお願いいたします。